

第八号



西多摩医師会報

第8号 昭和48年2月7日発行

発行 西多摩医師会  
編集 広報委員会

青梅市西分3-103  
郵便番号 198

電話 (0428) 3-2171  
2172

あふみの峽の岩より

なほくくと

しる氷柱の童りて寒し

人知れず老いたるは月サ

なとこめて

水の聲を冷ゆるこのころ

一 茨吉





目次

☆ 時論	先進諸国の医療形態を採る(其の四)	小泉新策	1
	社会保障医療イギリスに就て(承前)	福島大寿	5
	医事紛争処理についての私見	栗原正吾	8
☆ 随筆	往診 奇談・珍談	川崎健一郎	11
	味の	岸田壮一	11
	私の昭和史研究―寡黙の提督	川崎健一郎	16
☆ ニュース	ジョホールに死す		21
☆ 各部だより			22
☆ 編集会議余滴			25
☆ 編集後記			28

## 先進諸国の

# 医療形態を探る(其の四)

社会保障医療イギリスに就て(承前)

日・都医代議員 小泉新策

一般医と病院と並んでナショナルヘルスサービスを支えるいま一つの柱は地方保健機関サービスで、母子保健患者の自宅に於ける医療とアフターケア、保健教育の普及、各種伝染病予防等が業務である。日本では消防署が受持っている救急業務も英国では保健機関の担当である。我国の保健所の機構は発足当初英国の制度に見倣ったといわれているが二三の相異点を除けば類似しているといえる。地方保健機関サービスでの中心役割は派遣看護婦である。住民の健康管理、自宅療養患者のアフターケア、孤独な老人の世話が主な仕事とされている。地方保健機関サービスの設置は地方自治体単位で配置されているが病院は幾つかの自治体を併合した形で全国を十五地区に区分して一地区に一つの総合病院が設定され、それに眼科

精神科が併置されている。保健機関サービスは大体三〇名自至三五名の派出看護婦が配属されていて自宅療養者や老人家庭の訪問を仕事としている。一つの機関で年間扱う件数は八万件から九万件で、近年老人層の増加による訪問件数増と更に入院待期中の患者増が扱い件数を膨張させているといえる。派遣看護婦の資格は公務員であって給与は国から受けるが扱う件数には関係がなく年収一二〇ポンドから一六〇ポンド(約一〇〇万から一四〇万円)労働時間は週四二時間だが過剰な仕事の影に追いまくられ常に超過勤務となる。仕事の性質上毎日訪問すべき患者も二日か三日に一回の間引き訪問にしなければならぬ程の多忙さである。重労働である割合に給与面でもあまりよくないので若い人達には魅力がなく新人の就業が少く、補充不足である。英国のように看護婦を高尙な聖職として尊敬している国柄であるにも拘らずこのように魅力を失っていることは意外なことで、我国の実状とよく共通している現象である。英国のナショナル、ヘルスサービスを支えている一般医、病院、地方保健機関の三つは総括的には保健大臣のもとに議会によって管理運営されていることは前に略述したが地域内の凡ての人達に必要な保健医療を与える実際の運営は地域内に構成されている三つの委員会、一般医では地方自治体に執行委員会、保健サービスは医療委員会、又病院では全国を十五区分して設置した地区病院委員会によって運営される。更に地区病院委員会の下部機構に病院運営委員会が設置されている。これら委員会はそれぞれの管理運営につい

て全責任をもって当っている。注目すべきことは各委員会の委員は各種団体や職域から選任された住民の代表であって、この人達が中心となって運営を行っている。凡て労働奉仕という形で全くの無報酬で奉仕的に活動していることである。この組織機構が「住民の参加による医療」という、ナショナル・ヘルスサービスの基本的精神であって、この機構の是非は別として全く注目に値するものである。一般医を管理する執行委員会の下部組織に苦情処理委員会がある。これは一般医の診療内容に不満のある場合の住民側が訴える機関であって医師側のものではない。苦情処理委員会は住民から訴えがあると開く、委員会は医師側代表三名市民側代表三名、それに弁護士が一名加わって、これが議長の職責につく、その外委員会の事務局長が加わり計八名で委員会を構成している。訴えた側、訴えられた側の双方よりの申分を充分きき討論をつくして結論を出す。この裁定の結果については不服がある場合は上部機関への上訴出来る道は開かれてはいるが、多くの場合委員会の裁定に服従する。委員会として裁定する内容は注意勧告罰金医師の登録権取り消し等で以上の権限が与えられているわけである。苦情処理委員会は自治体単位で設置されていて扱う件数は毎年五〇件から七〇件位である。この苦情処理委員会は前述の通り性格的に住民擁護という立場をとっていて医師側からの要求を取り上げて審議する場でない。我国では各地域ごとに医師会内に自発的に設置された医事紛争処理委員会がある。この委員会の委員は原則として医師に限定して居て会の目

的も患者からの苦情や損害賠償の要求を受けて処理するものであつて問題の内容を分析しこれに対応して損害を最少限度に食いとめることに努め職域の擁護を計ることで結束の強化と共通の利益を守つて行こうというので根本観念が違ふ。若し現在の日本に英国式の苦情処理委員会が発足したとしたりそれこそ大混乱を招来せずにはおかない。厚生大臣の首の飛ぶのは勿論のこと総理大臣の椅子まで危くなるような医師会の無期限ストライキに突入する事態が発生することであろう。住民の受ける医療面のことに就て調べて見ると色々問題点がある。患者が発生すると医師に電話打合せをして予約をとる診察を受ける緊急の場合出向いて診察を受けるか、それが出来ない程の場合は往診を求め、往診は夜でも昼でも廿四時間登録患者には責任があるので求めに応じないわけにはいかない。英国でも往診をすゝめるとかしないとかいつもトラブルを起して苦情処理委員会の議題の種となつてゐる。診察の結果内服程度ですむものは医師は処方箋を書き薬を薬局から求めさす。診察料は、一切無料だが処方箋料として薬一種につき二〇ペンス(約一七〇円)を支払わせてゐる。患者が急性虫垂炎で穿孔の恐れのあるときやイレウス等で一時を争うときは救急車で病院へ送り込む。病院では救急患者として必ず受け入れて処理をする。患者の症状が不急且つ診断困難等の場合は紹介状を書き郵送して病院の入院指示を待たせる。入院まで早くても三、四週間はかかる。その間は派遣看護婦がたづね又一般医が往診して時の到るを待つ、費用は一切無料であるけれども住民はこの不

便を克服しなければならぬのである。さもなくば病院の専門医の私費患者となって特別室に入院する外はない。私費患者の入院料は三〇〇〇円から五〇〇〇円のベット代と医師が請求する医療費を支払うことが必要である。一回診察しただけで五ポンド（四三〇〇円）程度を請求される。英国では約一割の自由開業医が居ることは前にも述べたがロンドンのハイレイ街（高級住宅街）では専門医が軒を並べて自由開業している。英国では自由開業することは医師として最高の名誉とされてハイレイ街の医師といえは名医の代名詞で通用する。こゝでの患者はみな私費患者のみで、ハイレイ街では大繁昌で予約をとるのに半月から一ヶ月もかゝるものもある。料金は篋棒に高い。診察予約をとるだけで五〇ポンドから一〇〇ポンド（約四万三〇〇〇円から八万六〇〇〇円）盲腸手術が六〇〇ポンドから八〇〇ポンド（五一万六〇〇〇円から六八万八〇〇〇円）が普通相場。自由診療で而も最高に高いといわれているアメリカ医療を上まわる高料金である。自由開業医がこのように繁昌している背景にはナショナル、ヘルスサービスの医師の技術の低さ、サービスの悪さが問題として挙げられている。無料でサービスの悪い公営医療とペラ棒に高い自由診療との谷間で国民は窮余の策として最近健康保険に加入する傾向が殖えている。アメリカの保険会社までが進出して加入を奨励して七一年末までに加入者二二〇万人を数えている。上層階級も中産階級も共々民間保険に加入してプライベート・ドクターにかゝることが容易に出来るのが念願で、これが大

都市での最近の強い傾向である。又一般医からも公営医療の在り方について要求が出されこれが表面化している。ナショナル、ヘルスサービスは登録住民数に比例して医師に給与を支払う人頭制請負方式で医師の個々の技術は殆んど評価していない。専門医の資格を持つていて医師もなりたての医師も所得にそれほど格差はない。こうした一律的制度に対する不満から腕に自信があればナショナル・ヘルスサービスの枠から抜け出し多くの収入のあるプライベート・ドクターの道を選びたがるわけである。又最近では若い医師達の海外への流出が目立って増えている。年間海外への流出医師数は二〇〇人以上であるといわれ、その原因は過去廿四年間一律の医療制度への不満と、自由開業で高い収入の得られる国への魅力で、こうした現象は容易ならぬことであると云える。この対策ともいうべきものとして一九七一年八月十六日ヘルスセンターが開設された。ロンドン郊外のレンデンがその第一号である。こゝは人口七万のニュータウンで「新しい町には新しい医療形態を」ということでこの制度が新しく実施されたわけで、地方保健機関の業務と一般医の仕事を一本化したようなものである。日本でも大保健所計画として制度化されようとして末端保健所の抵抗があつて日の目を見るに至っていない。がこれはレイデンのヘルスセンターを模したものであるとの噂である。この新制度のヘルスセンターの狙いは一般医に数々の特典を与えることによつてナショナルヘルスサービスに対する不満を解消しようとするもので政府が積極的に推進している計画である。

ニュータウンの中心地に完成した新制度によるヘルスセンターは、

地方保健機関の派遣看護婦、助産婦などの二〇人の職員と七人の一般医が入っていてグループ診療を行うこととなっている。一般医は安い費用で最新式の医療施設を利用することが出来るし、地方保健機関より看護婦や助産婦や受付事務官を提供されているので人件費は節減出来るし、一人当りの収入面でも三五〇〇人の登録が四五〇〇人に枠の拡大が認められている。この制度は一般医特に若い医師達の間では評判がよいようである。欲求不満と待遇改善への強い不平は或程度解消されるに効果的であったと云うことが出来る。ヘル

①患者割当数の増加による増収  
②分業が出来、時間的余裕を作り、余力を専門的研究に振り向ける  
③診療内容の個々のケースにつき医師間で意見交換が出来る  
④従って従来よりもより良い治療が可能となる。以上が好評を博している大様である。

英国ではこのヘルスセンター計画は一九六七年頃から始めて漸次改善して現在では前述のような形態となっていて全国に三五九ヶ所開設したということである。一般医の一〇〇%に当る二〇〇〇人が参加して五人から八人のグループ診療が行われている。

又待遇改善について一九六六年以来幾度か改正されている。登録住民だけで算定していたのを①六五才以上の老人の登録費の割増し、②経年数の加算③時間外診療手当、登録外の患者の診療手当④予防注射や保険サービスに対する手当⑤一般医相互間扶助のためグル

ープ診療を奨励し一人で行う診療より多数登録患者が持てる。又英国では一九七六年四月にはナショナルヘルスサービスを大幅に改革することを決定している。その目標は三つの柱の建て直しをしようというのである。現在病院は国が管理し一般医と保健サービスは地方所管であってばらばらであるのを新設する地区保健委員会の管理一本とする。一元的な地域医療行政によって一般医、病院、保健サービスの関係を密接にすることによって現在の諸々の矛盾と問題を一挙に解消しようとしているのである。

アベデイア保健大臣は保健改革を次のように述べている。現在の英国の医療制度は種々の矛盾点があるが貧富の差に関係なく医療を保証している。この制度は国民の九〇%が支持している。従って現行制度を否定することなく矛盾を解消して行くことが現在の英国国民に課せられた課題であると述べている。一九七六年には再編成してナショナル、ヘルスサービスは改革第二段階に入るのである。発足以来廿四年の歴史の中で公営と自由診療とが併存しつつ矛盾を改善していく、制度の問題点に当面しつつも率直にそれを認め模索することによって手直しをしつゝ「すべての国民に最新最善の医療を平等に与える」という最終目標に一步でも近づこうという英国の医療に対する態度は敬服に値する。以て他山の石とすべきであろう。我国の如き権力の若にこもり権謀と術数を駆使して唯々ちぐはぐな言辭と奇怪な論理の展開に終始して貴重な機会を空転させている。

これでは我々の理想の実現は到底思いもよらず百年河清を待つ迂遠さを痛感するのみである。

福祉国家建設への道は険しい。しかし如何にけわしくも、不退転の勇氣と覚悟を振りしぼって立向わねばならない。このことは我々職域に課せられた世紀の重責であるからである。

## 医事紛争

### 処理についての私見

福 島 大 寿

経済企画庁が医事紛争を患者側の立場から処理するために、日本弁護士連合会（日弁連）に相談窓口を開設するように要請したという記事が朝日新聞紙上に報道され、会員の先生から紛争処理について研究せよとの要請がありましたので私見を述べさせていただきます。最新のニュースとしては、昨年十二月二十二日の読売の朝刊に次のように報道されております。

国民生活審議会（首相の諮問機関）の消費者保護部会が十二月二十一日に発表した中間報告は、

- (1)どこでも、いつでも容易に適切な医療サービスが受けられること。
- (2)その医療が医学の最新の水準にもとづき、患者の症状にピッタリあったものであること。

(3)医療についての苦情がスムーズに処理され、被害が早く有効に救済されること。

(4)医療サービスの供給体制全般にわたって消費者の意向が十分に反映されること。

となっており、さらに読みつゞけますと、

(イ)医療事故をめぐる医療供給者（医者）と消費者（患者）との間のトラブルを解決するための公的機関「医事紛争処理委員会」を中央と地方に設置する。

(ロ)日弁連に医事紛争の相談窓口の開設を要請する。

(イ)医療の内容、入院期間が適切であるかどうか、医師が互にチェックし合う医療監査制度を導入する。

その他、であるが経企庁は以上の事項を法制化し、強制調査権を持つ強力なものとする構想のようであります。日本医師会法制委員会が昨年三月に集計した医事紛争の増加状況や、最高裁調査による医事紛争の損害賠償請求訴訟の増加状況も報道されております。

新聞紙上の報道は大略以上のとおりであります。最も実現可能なことは医事紛争処理委員会の設置と、日弁連の相談窓口の開設であります。特に日弁連は経企庁に対し内諾を与えたということで

す。さて、我々医師は患者とのトラブル発生を予防するため日常腐心しており、医師を含め医療従事者は患者及びその周辺に対する応接の言動に注意し、診断・処置・投薬・注射等は細心の注意を払って

おりますが、一旦事故が発生した際にはどうなるでしょうか。我々が加入している東京都医師会には医事紛争処理委員会が設置されておりますので事故発生と同時に直ちに連絡しなければなりません。西多摩医師会長にも報告します。当事者の医師が直接患者側と交渉すると、ちょっとした言葉と、その受け取り方で益々混乱を生じますので、交渉は我々医師会側の第三者に一任するのがよいでしょう。

昭和四十六年二月東京都医師会と安田火災海上との間に医師賠償責任保険に団体で加入できるように契約ができてから現在までに西多摩医師会員が四十六名も加入しております。他にもいろいろの保険会社があり医師賠償責任保険を取扱っております。それぞれ一長一短があるようです。賠償にあたっては医師と患者との利害関係の他に医師と保険会社との間にも利害が相反する面が出て来ることが予想されます。医師と患者との間で妥結点を見出しても保険会社が一〇〇パーセントそれを認めるかどうか疑問です。保険会社側が賠償額を値切った場合には医師と患者との和解が成立しないこととなります。

医師側としては保険会社に極力働きかける「係」を設けて置く必要があります。西多摩医師会医事紛争処理委員会は患者側だけでなく保険会社とも積極的に交渉し、医師と患者との妥結点を尊重した処理を迅速に実行するように努力していただきたいと思えます。

東京保険医協会が大正海上火災保険会社と団体契約した医師賠償責任保険制度を参考までにご紹介致します。この制度は補償範囲が広く、保険料金などの制度よりも安く、紛争が生じた場合の処理が迅

速であると謳っておりますが、何よりの特長は紛争処理委員会であります。委員会は五名の委員で構成され、保険医協会代表四名と大正海上火災保険会社代表一名であります。争いが生じた場合はこの五名が加入者の申し出に応じて審理しますから常に四対一の割合で協会側が優位に立っていると思われれます。

我々は個人の意志で医師賠償責任保険に加入しているのでありますが、一旦有事の場合には、会社に一任しただけでは不安といふものの個人で患者や会社との交渉に当るのは冷静な態度を保つことが困難で気重でありますから、先程も一言したように、西多摩医師会代表の専門委員を患者側だけでなく保険会社との交渉に当らせる必要があると考えます。

# 主張

先、老人医療に関する厚生省案に対して必死の抵抗を示した東医の態度は、その論点からも（都医ニュース十一月十五日付号外に詳細に述べられている）全く正しく理解され、又、完全とは云えなかったにしろ所期の目的をほぼ達成させた其の政治的行動力についても高く評価されてよい。

我々は、さすが首都の医師会であり、日本をリードする東医であると、その傘下にある事に一種の誇りと安心感を持った程である。

然るに、此の度の外人国保の覚書について云えば、いさゝか、其の安心感は消え去るのである。

即応して覚書を交換するに至った事は立派としても、その時点に於て東医傘下全域についての配慮があったのであろうか。もし技術的に困難であったにしろ同一歩調

をとるべき努力が、我々の肌を通して感じられなければ、二十三区独走、三多摩格差の声を打ち消すわけにはいかない。こゝに膨大化した三多摩をかゝる東医の機能を論じ、三多摩独立論を唱える考えは毛頭ないが、今後、東医が行動を起こすにあたって、尚一層の綿密な内部の連携を基礎とされん事を願うものである。

## 外国人国保について考える

のない事だと云いたいのかもしいないが、覚書の内容で明らかになく、医師側にとって憂慮すべき問題点が多々存在するのである。此の様な市当局に対して、反論するに、然らば我々医師会にとって、予防注射、学校医、其の他諸々の市の医療行政に対する協力については何等法的な義務を負はされてはいないのである。

西医は、先の国会議員等に対する質問状に医療の基本的な考えの一つとして「医療を行なう人なしには如何なる制度施設が完備しても意味がない」事を明確

又、一方此の問題について西医自身を

ふり返る時、ブロック内の或る市に於ては既に十月一日から実施に踏み切っているのであるが、その経過をみると、市国保条例の改正に際して、市医師会に、何等の相談もなく、通知もなかったばかりでなく各医師に対する実施通知の発送が二日付であった事を考えてみると、市当局にとつては、事前の協議などは法的に何等かゝわり

にしている。此の様な事態に、当市医師会が即応した行動を起こさず黙過し、西医本会に対して、何等の討議をも要請しなかった事を遺憾とするものであり、この事実を反省し、地方自治体と直接かゝわり合うブロック地区医師会が、終始、我々の基本的態度を忘れず、会員擁護のため、毅然とした態度を保持されん事を望むものである。



# 随筆

## 往診奇談・珍談

栗原正吾

比較的腰の軽い医者として評判の良かったと自負していた私でしたが、<sup>ヨク</sup>齡還歴を過ぎた今日此頃では、電話の音を聞いただけで又、往診ではないかと、ゾーッと、心胆寒からしめる事屢々と思うのは、やはり年令シかな、と淋しくもなってくる。特に嚴寒骨をも透す一月二月頃の深夜の往診は又格別。

インフルエンザの大流行の昭和二十七年頃、一部落にて卅五ノ六軒もの往診を終え、深夜独り淋しく一杯呑みながら「カルテ」の整理をしている所に、又今帰って来た部落からの往診の依頼。どうせ往診だったら

「何んでもっと早く云わなかったのか」と少々頭に来て、一応は断ったものの仏心が先に立ち、良心の呵責に堪えかねて、又往く事にする等、未だ純良な、又純心の若い青年医師で有った事もありました。

### 一、保険証

某月某日の深夜の事、電話のけたたましい「ベル」の音で目が醒めた。

〇〇旅館からの往診の依頼だった。

ヤレヤレ今の此の時間に往診かと、気は重いが〇〇旅館なるもの、最近、近所で兎角評判の〇〇「マーク」付きらしく、小生些か助平根生も手伝って往診に出かけた。

宿のお神に案内されて、薄暗く、小汚ない廊下を曲り曲って、「ギイギイ」と軋む階段を昇って部屋に這入ろうとした時、お神は「先生、アレデスヨ、エヘ、、、」と云って帰って行ってしまった。

患者は一見したところ、未だ二〇才前後の〇工風、蒲団を頭から、スッポリとかむって起坐呼吸で苦しんでござった。

明らかに喘息発作であった。

部屋の片隅には屈強な、六尺豊かもあるうかの黒ん坊（黒人兵）がツツ立っていて目ばかり大きく開き、バチバチとさせ、キョトンとした表情。この深夜に自分の年令より十四、五才も上齡上の大先生を、大先輩を呼んでいて、挨拶どころか、見て見ない振りしてござった。

いくら敗戦国の元軍医だって実に頭に来た。

診察の段になって、かぶっていた蒲団を取ろうとしても、彼女固く内側から握んで離そうとしない、こっちも面白くもない、面倒とばかり立上って蒲団を強く引き千切

る様にして腕<sup>も</sup>ぎ取った。力余って小生後の壁に「ドスン」と強く突当り、床板に「イヤ」と云う程尻餅をついた。

ビックリ。彼女はと見ると、生れて来たママの素裸。おまけに栗の花の臭ブンブン。たった今終ったばかりと云う状況一目瞭然。

余り気分に乗れすぎて、持病の喘息発作が起つたと云う次第。ザマア見ヤガレ、実に癪にもさわつたが、真<sup>マコト</sup>に滑稽でもあった。

型通りの注射で一応発作は治つたが、其の間約二十分〜三十分の間、ただ「ゼイゼイ、ヒューヒュー」と。古ぼけた柱時計の振子の音のみが、イヤに大きく耳に響いた。

さて支払いの段になって、伴の黒ん坊が何んとか云うがサッパリ判然としない。O LはO Lで何んとも云う様子も無い。小生、この寒空に、然も深夜に、水鼻汁を垂らしながら而もこの場面。色々と考え、計算もし、此奴等の眼から火の出る位高く取ってやろうかと考えていた。

発作の全く治つたO L、何にかゴソゴソ

と「ハンドバック」に手をかけた。たったの今、生死をかけての交戦で得た大金を、「ソックリ」小生に完納かと思いきや、サニアラズ。ヤオラー一枚の、〇〇交通R Kの本人保険証提出。而も初診料〇〇円と共に、これは参つた。

完全に敗けた。

身分がばれ様が、職場が分ろうが平気の平座。自分だけの支払いが少なければ少ない程よい、とは、けだじ現代娘の本質でも無いでしようが。伴の黒ん坊どう思ったか、ラッキーストライト(一〇本)一箱と、ウキスキー一本両手でウヤウヤしくさし出した。

真に寒い寒い夜の往診でした。

二、往診時に聞いた「予言」的中、日中和平こんな事を今頃云うのは全く時期を逸した事かも知れないが、日中国交正常化実現真にお目出度い事である。

今から卅余年前、私は再度の応召で中支派遣第六十一師団第三〇六八部隊付の軍医として中支各地転戦。昭和廿年頃には、

上海の最前戦、キャンワン ウースン 大場鎮の線で毎日毎夜医療ならぬ各人の墓所となる蝸壺を構築中でした。毎日午前十一時五十分頃比島から必ず毎日やって来る、所謂定期便の、B 52ならぬB 25(当時の空の要塞)に撃ち砕かれつつ無意味の「スコップ」を握っていたものでした。

遂に終戦而も異国での敗戦。こんな淋しい事はない。大通りをねり歩く民衆の勝利のどよめき、爆竹の音、吾々日本兵に対する罵声又は仕打ち、誰一人何んにも云わずに黙って前線より后方の収容所へと歩いた。高橋圭三氏の言葉ではないが、「昨日に似た今日は必ずしも昨日の様な今日では無かつた」事をしみじみ感じたものでした。

私達の部隊一同捕虜となり上海の某元日本人小学校に一括収容された。

捕虜生活も二、三ヶ月経過し、望郷の念にかられ、無聊に苦しみ一時でも忘れようと、そろそろと良からぬ事でも考えて来たのは小生のみではなかつた様でした。

突然、或る日衛生兵所から軍医二名の往診の依頼があった。当時上海地区では「コレラ」、「赤痢」が大流行であつて其の事についての往診であつた。丁度小生と居合せた某君（軍医）と共に診たが単なる胃腸疾患で今流行中の悪性のもので無い事が判つた。御礼としてか、中国の某中尉が上海の或る大飯店に連れて行き吾々の日頃夢に迄見た、美酒、蛋白、脂肪等、大量補給の世話になつた事は今でも忘れ難い事である。其の時彼の中尉の云つた言葉で（彼は日本の某私立大学卒）私達は今度の戦争で長かつた八年間の戦争で勝つた。然も米國、又ロシアの参戦で勝つた。貴殿達は敗戦國、確かに敗者だ。だが日本の最高の医学を学んだ所謂「インテリ」だから云うがと前置きして、後二、三〇年もしたら東洋民族同志必ず手を握つて逆に米、ロに對して一戦交える事があるやも知れない感がする。と云う意味を稍々興奮気味で話していた。

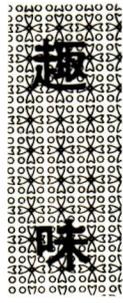
戦争の恨みにも触れず、気の速くなる様な卅年もの先の事を云われて当時の私達は

とまどつていた。

然るに廿七年後の今日、中国人中尉の云つた言葉が現実となつた。

今こそ日中の眞の平和を祈るべき時だと感無量であると共に中国人の心の遠大さ、且つ雄大さに強く心うたれた。正しく「予言」的中、日中和平、眞に喜ばしい事である。





## 私の昭和史研究―寡黙の提督

(福生病院勤務) 岸 田 社 一

昭和の十年代は我が国が戦争という大波に大揺れした時代である。今日の経済繁栄など夢にも思えなかった。この頃私は医学生であり従軍の軍医であった。いふなれば私の青春時代であろう。支那大陸や南方諸域を駆け回っただけであつたが、この時代に誰が戦争を指導し政治を左右したかが興味深い。

松本清張の「昭和史発掘」は誠に名著であつて、昭和の初期から例の二・二六事件に至る間あらゆる資料を駆使して語っている。この二・二六事件は私の記憶に残る最大の国内問題でその後の国の運命を決する

出来事であつた。

この後諸々の悶着を経て成立した広田弘毅の内閣は所謂軍の圧力に押され放したが、年が明けて第七十帝国議会の辟頭、政友会の代議士浜田国松が陸軍大臣伯爵寺内寿一大将との間に後世いう「腹切問答」なる大衝突をやらかしてしまつた。国士を以て自負するこの老政客は政府に対する質問と称して壇上に立ち、

「最近軍が政治のあらゆる分野に容喙し且つ圧力をかけるのは憲制の建前よりするも『軍人に賜りたる勅諭』の精神よりするも以ての他である」

と叫んで満場の大喝采を博した。答弁に起つた寺内大将はこれを正面から促えず

「只今の浜田君の演説の中に軍人を侮辱するように聞える箇所があるのは遺憾である」といった。怒り心頭に発した浜田は老の一徹ともいえる気概で再登壇し、

「何を以て軍人を侮辱したというか。速記録をよく調べてもし左様なことがあれば僕は腹を切つて君に謝する。もしなかったら君割腹せよ」

大上段から振下ろした。議場は蜂の巣をつついたようになり、陸軍は政府に衆議院を解散するように迫つた。情勢は一転し、たとえ解散するも現内閣の如き弱体では到底急場を乗切れないであろうとの意見から広田内閣は総辞職した。

次内閣の組閣の本命は陸軍大将宇垣一成に降つた。この大将は伊豆長岡の別荘から深夜直ちに参内、孤軍奮闘を重ねて、独特の粘りを発揮したが、陸軍大臣を得られず遂に拝辞した。俄かに陸軍大将林銑十郎が選ばれて一応時局を收拾した。この時先に

「解散待った」を主張して男を上げた形の海軍大臣永野修身大將は後任に米内光政中將を推薦して内閣を去った。一般国民が米内なる提督が海軍にあることを知ったのはこの時が始めてである。

前年来連合艦隊司令長官に親補されたばかりのこの提督は折から旗艦長門に坐乗して海上演習のため横須賀軍港を出港するばかりであったが、直ちに退艦して上京、俗に「赤鍊瓦」の異名のあった海軍省の石段を背短い海軍マントを翻しつつ登った。

忽ち待構えていた新聞記者連中に囲まれて大臣就任の抱負、感想などを質問された。「武人として最高の名譽の地位から一軍属のようなものになったのだ。嬉しいことなど何もない」

東北岩手県盛岡在の寒村を出て、海軍兵学校に学び、海軍軍人として生涯を捧げることを決心したからには見渡す艦艦を指揮号令するこそ男子の本懐というべく、権謀術策を弄し、懸引に明暮れしたり、書類に盲判を押す政治の如きは全く念頭になかっ

たに違いない。運命は皮肉なもので彼はこれを機会に海上指揮官として勇姿を表すことなく、政治の雲の上を引回わされて一生を終った。

緒方竹虎によれば米内光政の如きは平時ならば海軍中將になった位で、後は悠悠自適の余生を送る程度の人間であった。米内が政治の中枢に立たねばならなかったことは米内自身にとっても日本国民にとっても不幸であった。彼の出身学校の成績や学

んだ経歴から見てもそうであったであろう。現に中將に進級して鎮海要港部司令官の閑職に追われた時は自分でも鹹の坐を覚悟していたようで、在外武官時代に覚えた語学力でロシア文学の翻訳を始めたりしている。予備役に入ってから多少の生活の足しにしたかったかも知れない。ちなみに彼が盛岡中学校に在学した頃、後の歌人石川啄木も同じ学校の生徒であった。

林銑十郎大將もピンと張った髯や「越境將軍」の異名にも似ず、総理としては大したことなく、短命内閣に終り、続いて公爵

近衛文磨が組閣した。米内は海軍大將に進級し、引続いて海軍大臣であった。

近衛に対する国民各層の期待は絶大なるものがあつた。公卿華族の中でも五撰家筆頭の家柄であることは臣民の中で最も天皇に近いことを意味した。然も平民と同じく京都帝国大学に学んだことや父実篤の功績が明治時代を知る人の間に人望を得るに及ぶかかって力になった。何よりも四十代の若さが魅力であつた。

が一国を担う首相となつてみるとこの人も結果はナヲナヨした華族のお坊ちゃんであつた。彼の内閣成立を待っていた如く陸軍が支那事変を始めたのは彼にとって不幸であつた。でもこれは前の満洲事変のような計画性のあるものではなかつた。蘆溝橋の不法射撃とはいうのも柳条溝の鉄道爆破のようなものと違い全く偶発的なものであつた。これで日支兩軍が衝突したのは事実であつた。

近衛にしてよく陸軍を抑え得る力があつたならば少くとも局地で終つたであろう。

断固膺愈派といわれるものでも、戦争の拡大を望んだのではなく、伝家の宝刀を閃めかせば蒋介石政権の如きは直ちに要求を呑んで、排日抗日政策を止めるであろうと思つただけである。何れにしても南京陥落後に「今後蔣政権を相手とせず云云」という

所謂近衛声明を中外に宣伝したのは軽る弾みのそしりを免れない。後に和平の端緒は何回かあったが為にする反対に遭つて思うように進捗しなかつた。一度「相手とせず」といった相手と交渉することは我が敗北屈服を意味するからである。

近衛としては漢口に逃げた蒋介石はも早や一地方政権の首魁に過ぎず、いずれ我が占領地域内で有力なる人物が政府を作るであろうと思つたのであろう。成程後になつて汪兆銘政権は出来た。しかし支那大衆の興望では遙かに蔣に劣るものであり、施策の各方面に作戦の必要と称して軍が介入するのであるから結局物にならなかつた。

近衛は結局内閣を投出し、男爵平沼騏一郎が次の内閣を作つた。米内はここにも留

任した。前検事総長、枢密院議長であり、玄洋社なる国粋団体を主宰したことのあるこの人も総理としては大したことなく、容貌からするイメージか、老人めいた感覚ばかり目立つた。

米内が米内らしい片鱗を表わし始めたのはこの頃といえる。折柄日独伊防共協定ということが話題になり始めた。歐洲に於てはナチスのヒットラーが政権を握るや、前大戦の英雄ヒンデンブルク元師の死去と共に大統領制を廃し、自ら大統領と首相を兼ねた、Führer 総統となり、軍備を拡充して、これを背景に近隣諸国を威嚇する傍若無人の外交を展開し、その勢当るべからざるものがあつた。我が国の陸軍や右翼方面にはこれに心酔するものが多く、これと提携して年来の仮想敵国ソ連に対し東西から圧を加えようというのである。先に満洲事変を起して、満洲国を作つたのもソ連共産勢力の南下を喰止めて我が国の安全を計ることが大義名分であつたから、このこと自身にそう異議があつたわけではない。

しかし実質には歐洲に於ては英仏と独伊とは利害が対立することが見え透いて居り、ヒットラーの企図も亦暗に英仏に對抗する協同戦線を張りたい意志が読みとれた。特にここ一兩年支那事変に手古摺っている我が国としては作戦地域に英仏の權益があつて作戦を妨害し、米國を誘つて蒋介石政権を軍事的・経済的に援助するので、事変解決の大いなる障害の一つであつたことは勿論である。

従つて独よりこういふ協定の手を差伸べられたことはもつちの幸ともいふべく、スグこれに飛付こうとする空気も濃厚であつた。そしてこれを検討する閣議の他に五相會議（首、外、蔵、陸、海相を以てする）が連日開かれた。外務省側もそうであつたが、これに最も反対したのが山本五十六中将を次官に持つ海軍大臣米内光政であつた。その趣旨は一見我が国と独伊は利害が一致した如く見えるけれども、本協定では彼に益するところあらんも、我に利するところ少く、況んや英仏のみならず米國をも敵に

回す危険のある約束の如きは到底海軍としては承諾し得ないというところであった。即ち将来米英兩國を相手に戦う如きは我が国力の堪え得ざるものであると考へるのである。

この思想は当時の右翼側からすれば誠に億病千萬に見えるもので、列強の利害の錯綜する歐洲に於てすらヒットラーは旭日昇天の勢で外交を行つてゐるのに、速く離れた東亜に於て米英仏の鼻息を伺うの必要など何処にあるかといった向う見ずの見方があった。世界の大勢を知らざるも甚しいもので、米内、山本等の常識からすれば、ヒットラーやムッソリーニの如きに歐洲征覇など出来る筈がないとのが頭にこびりついてゐたに違ひない。

ヒットラーはザール地方の進駐に始り、デンマルク、ラトビア、チェッコスロバキア等から独逸民族多き地方を割讓させ、又独逸合併を行うなど止るところを知らない。名目はその地域の住民投票による自由意志

あったことは勿論である。伊のムッソリーニも驕尾に付した形でアルバニア、エチオピアを征服合併した。然る後にヒットラーは英のチェンバレン、仏のダラジェ、伊のムッソリーニをミューンヘンに招き会談し、独は決して平和の攪乱を期するものにあらず、住民の意志を尊重したに過ぎずと強調し、今後かかる外交攻勢は取らざる旨を述べて、既成事実を承認させてしまった。

然るに幾許もなく東隣のポーランドに対し、ダンチヒ自由市に到る所謂「ポーランド廻廊」なる地域の中立法及びこの地に於ける独のライヒスアウトバーン自動車道の建設を要求した。ポーランドの拒絶に遭うや、電光石火の如くソ連スターリン、モロトフとの間で独ソ不可侵条約を締結し、国境各処から独軍はポーランドに侵入した。ソ連側は大した理由もないのに背後から兵を進め、一月ばかりの間にはポーランドを東西に分断占領してしまつた。ポーランドは英仏に援助を求め、英仏は直ちに独に対し

始つた。

防共協定は本当の趣旨が何処にあったにせよ、表向きは防共であり、ソ連を共通の敵とうたつた筈であるのに、その敵と独ソ不可侵条約が出来ては意味が分らない。平沼内閣は「歐洲の情勢は複雑怪奇である」の名(迷)文句を残して総辭職した。

ここで米内は軍事參議官となり、山本は連合艦隊司令長官となつて共に海軍省を去つた。そして山本は大将に進級してもそのまま職にあり、太平洋戦争を迎え、南溟の彼方ソロモン群島ブーゲンビルのモイラ岬で乗機を撃墜され遂に戦死した。

この時米内に続いて山本が海軍大臣になつていれば或は日本の歴史も少し違つていたかも知れない。ハッキリしないが山本を海上に去らしたのは米内の温情があつたもとれる。前記防共協定検討の折この兩名は右翼ににらまれ、隠かに刺客が付回つてゐると噂さが頻りであつた。その中でも東北人らしい鈍重で口数の少い米内よりも卒

る山本の方が危険視されていた。以前に陸軍の話であるが永田鉄山少将が陸軍省内に於て中年の現役中佐に斬殺された例もある。海上指揮官の方が比較的安全と思つたのであろう。

この両人が海軍の中枢を去つてからは結局海軍の立場を貫き通す海軍大臣は出なかつた。海軍は戦わないものである。平素の訓練や整備も一にこのためである。頼むべからざるものを頼んで、努力を怠れば戦わなくてはならぬ時が来る。しかし「戦わない」というのは「戦えない」というようにとれる。戦えないのであれば海軍軍人は卑怯者の生命惜しみではないか。という風に罵られると相手に負けてしまうのである。平沼の後は陸軍大将阿部信行が襲つた。この大将は温厚な紳士ではあつた。宇垣一成が陸軍大臣の頃次官を務めたことがあり、宇垣が病気で休んだ間大臣代理をしたが比較的各方面に当りがよかつたのを買われたようである。が陸軍大将で当りがよいといふだけでは力が無い。林銑十郎の場合もそ

うだが、陸軍は強い敵のなさそうな大将を出したがる。出ても定見や信条が弱く利用価値がなくなると見棄てるといった結果が出来る。

阿部の後に組閣の大命は米内光政に降つた。我が国では憲法が施行されて、一応責任内閣の制度があるようなものであるが、議会に於ける多数党が政権を握り、総選挙で民意に問うて政権交代する憲政の常道に乗つた時代は殆んどない。明治の元勲を以て組織する元老院なるものが置かれて、政変の都度これが天皇の諮問に対して次期首班たるべき人名を奉答するのが慣例になつた。憲法にない制度である。それで元老は新に任命されないことになって最後に生残つた唯一人の元老公爵西園寺公望が呼ばれて答えることに決つていた。少くとも広田弘毅まではこうして選ばれた。

西園寺も寄る年波で世間との接触も少く、その意見をワザワザ聞いてもどうかということから、天皇が内大臣に問い、内大臣が然るべき何人かと相談奉答するように何時かなつた。内大臣は天皇を補佐する意味はないでもなかつたが、本来の職は天皇の御璽即ち印判を保管するだけの責任しかない。こうなるとその存在が大きく重くなつた。後には内閣総理大臣の経験者で組織する重臣会議なるものが事実上奉答の責任を負うようにもなつたが、これ亦憲法上の規定はなく、この時はまだその制度がなかつた。湯浅倉平内大臣が奉答する前に天皇の「今度は米内はどうか」との問があつたといわれる。天皇が「どうか」といえば、これは「そうしたい」との希望の表れであつて、余程のことがなければ反対は事実上出来ない。又米内は天皇裕仁の好みの人物であつたようにもとれる。事はこうして決つた。西園寺に次ぐものとして密かに自負していた近衛文磨公爵にも打割つた相談はなかつたようである。

米内としては官中その他に幾分その動きがあることは薄薄感じてはいたのであろうが、こう早く現実となって現れるとは考えてもいなかったであろう。拜辞するつもりで天皇の前に出たが、厳然たる天皇の声を聞いても早や断れないことを覚悟したらしい。天皇はそれでも心配だったようで、陸軍大臣畑俊六大将を呼んで米内に協力するよう特にいっている。畑も馬鹿でないから期待に沿うようにすると答えて退下した。

米内内閣は大型のようにも見えた。例えば前大蔵大臣石渡荘太郎が内閣書記官長になったことなどそう感じさせるものはあった。が不器用な米内の性格の如く怪刀乱麻を断つ如き鮮明な動きは見えなかった。ただ独伊との接近はなるべく避け、親米英的であろうとする傾向は何となく感じさせた。別格米内首相の指示ではないであろうけれども流石の陸軍でも常識的な頭のものの発言が通るようになったのかも知れない。支那事変はこのままではどうにもならない上に、これ以上続けて何を得るのかも分ら

ないので、今暫らく外交ルートをとぐって見るが、見込みがなければ、既に「皇軍の武威」は充分支那大衆に知らしめ得たものとして、北支一帯及び中支上海附近に一部兵力を残して、広大な大陸を作戦中の大

軍は逐次帰還復員させようとの議が持上り、その具体的方法の検討に入ろうとした。しかし何処までも我が方に運がなかったといえる。

(以下次号)

## ジョホールに死す

川崎 健一郎

「東南アジアなんて凡俗の衆が行く所だよ。どうせ行くならやっぱりヨーロッパだよ。」なんて偉そうなことを言っていたわたしが、実は年末年始の休みに、問題の東南アジアへ行って来たのです。

蔭の声が言いました。「馬鹿もん、思いつくやない。お前の方がよっぽど俗臭フンブンとしていくせに、自分は東南アジアへ行くような俗物じゃあないなんて思ったら大間違いだぞ。第一だな、行先きによって人間の値打ちを決めようだな

んて、トンデモナイことだよ。だからお前は、アホだ、単細胞だ、と言われるんだよ。判ったか……」

なるほど、そうでした。ゴメンナサイ。ところで、出掛けた経緯はこうなのです。昨年の夏、「神通が釣れだした」といって電話をしてきた例の富山県在住の凡友氏は、数年前から「東南アジアへ行こうよ」としきりにわたしを誘っていたのですが、わたしは何となく億劫なので、いつも生返事をしていたため、その計画は延び延びになっ

ていました。そして今回も昨年の十一月も半ばを過ぎた頃になって、またまた誘いの電話を掛けて来たので、「どうせ行くならヨーロッパにしようよ」と一応は抵抗を試

みたのですが、Hの意志が余りにも固いので、ついにわたしも折れてしまったという訳です。デモ、その時わたしの心の片隅には、「日本人ラッシュの東南アジアを、今頃になって申し込んだところで、どうせ飛行機もホテルもあるもんか。またまた延期になるだろうさ」という思いがあったのです。ところが予想は見事にはずして、数日後「飛行機もホテルもとれたぞ」という電話が来てしまったのでした。アア、去年のわたしは本当にツイテいませんでした。馬券は取られっぱなしだし、ラリーではドン尻になるし、そして最後は、これまた予想を裏切って飛行機の切符が手にはいってしまったのです。そうになると、どうしても行かない訳にはいかなかったのですが、待てよ、もう一つ切り札があるぞ、「言葉が通じない国へ二人がボンと行ったと

ところで、ドウニモナランじゃないか」と言ったら「われわれ二人だけに専用のガイドが付くから、余計な心配スルナ」という返事。万事窮す。

「じゃあ、わかったよ。行くよ、行くよ」ということになった次第。

そこでわたしは一つの条件を出したのです。

わたし「その替り、あっちへ行ったらレンタカーを借りて乗り廻そうよ。定食コースを引張り廻されるんじゃつまナイじゃないか。普通の観光客が行かないような田舎道を走ってみようよ。そうしなければその国の本当の姿が判らないじゃないか」

H「危ないからそれは止そうよ」

Hは昔から慎重居士なのです。ところが、暴走型のわたしは、

「なに言ってるんだい。三億円の保険にはいっておけば、なまじっか生きて帰って来るよりも、女房子供は喜ぶかも知れないぜ。第一、考えて見ろよ。今の日本のこの低医療費政策の下では、一生かかったって三億

円も稼げやしないぜ」

H「馬鹿ターレ、アホラシクってお前なんかと一緒に死ねるかよ」

ということ、海外ドライブの件がお流れになってしまったのは残念至極。

さて、われわれを乗せたシンガポール航空のDC8型機は、12月31日、たそがれのバンコク空港に無事着陸。わたしは初めて外国の土を踏んだのです。その時の気温は、32°C。先ずはホテル（日本語は全然通用しない）でシャワーを浴びて小休止の後、迎えに来たガイドと一緒にアロハシャツ姿で、タイ国料理を食べたのですが、香辛料が強過ぎてわたしの口には合いませんでした。しかし、踊り子達はナカナカの美人揃い、それもその筈、国立舞踊学院の選り抜きで、充分に目の保養になりました。かくしてバンコクの夜も更けて……

翌朝は、これを見なければバンコクへ来た意味がない、と言われる「水上マーケット」観光へ。メナム河を下ること約三十分でマーケットに到着。ここでショッピング。

宝石・銀製品・タイシルク・木彫の置物等を買ったり、ヒヤカしたり。

午後は「暁の寺院」その他を駆け足で廻り、5時頃再び機上の人となり、シンガポールへと向ったのですが、バンコクの印象をもう少し詳しく述べさせていただきますと、先ず皆さんご承知のとおり、日本の企業の進出が物凄いこと。バンコクで目に付いた日本企業の看板を列挙しますと次のとおりです。ナショナル・ソニー・サンヨー・東芝・NET・日立・三菱・トヨタ・ニッサン・ホンダ・マツダ・小松製作・セイコー・シチズン・ヤクルト等々で、また街中を走っているクルマも、クラウン・マークII・コ罗纳・カローラ・セドリック・ブルバード等が、半数以上を占めている感じで、タクシーも、殆んどがコ罗纳かブルバードで、わたし達が使った現地旅行社の専用車もセドリックでした。それから、タイ国では交通徳が非常に悪いこと。これも大変目に付きました。ドライバーも歩行者も信号無視は平気です。歩行者はその上、

横断歩道でないところを（かつての日本がそうであったように）クルマの間を縫うようにして横断して行くのです。

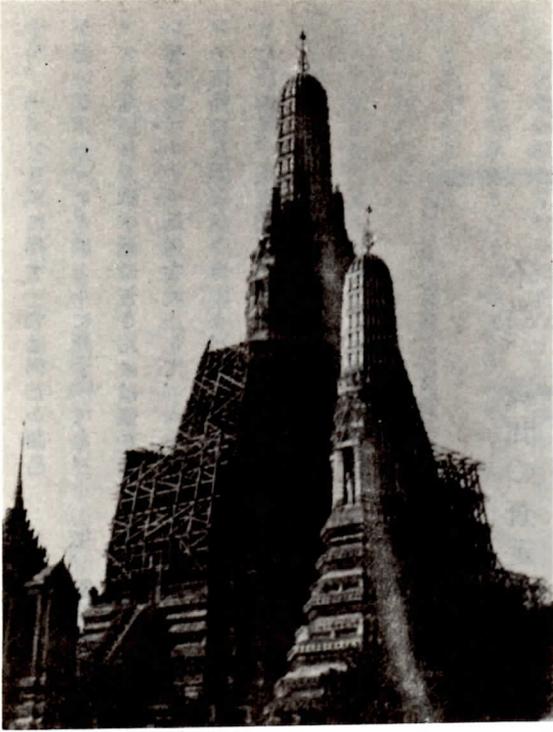
それから、タイ国はまだまだ貧しく、失業者は街に溢れているので人件費は非常に安く、一流レストランのホステスの給料は、月に三千円位で、これは結局彼女達のお小遣い程度だそうですが、家が自分の持ち家の場合、一家五人の生活費は約一万五千元あれば、何とか暮らしていける程度とのことでした。

ところで、バンコクの街並みはお世辞にも綺麗とは言えず、終戦直後の東京の街並みを思い出して載ければ、間違いのないような状態でした。また、これはシンガポールでもマレーシアでもそうでしたが、下積みそのまま陽の目も見ずに暮している人達が余りにも多いこと。そのためか、今度の旅行中ズーッと、わたしは心から楽しむ気持ちになれず、なんとなく物悲しくなってしまうのでした。今の日本の繁栄を顧みて、「地球は病んでいる」という思いがヒンヒ

シとわたしの胸を締め付けて来ました。大勢の人達の犠牲の上に成り立つ繁栄は、本物だとは思えませんし、また、彼等の上にはアグラをかいていたのでは、われわれは本当の幸福感を味わうことはできないのではないかと、思うのです。地球上から「貧困」を無くさない限り、人類に真の平和・幸福は訪れないのではないかと。それは大変に困難で長い長い時間が掛ることかも知れませんが、（彼等に向上・努力する気持を植え付けねばならぬだろうし……）しかし、何れにしてもこの地球上では、個人も、企業も、国家も、も早やエゴは許されないのだ。そんな思いが実感として湧いて来た東南アジア旅行でした。

余り長くなりますので、シンガポールとマレーシアのことは、後日にゆずることにして、題名に付いてチェック。

「東南アジア紀行」では月並みだし、何とかいい題名は？と考えていたら、「パリに死す」という小説の題を思い出し、「ヨシ、これでいこう」という事になったので



暁の寺院 (バンコク) ←

〔ジョホールに死す〕 写真

シンガポール・マレーシア国境ゲート  
(シンガポール側から) ↙



すが、「バンコクに死す」では何だか語呂が悪いし、「シンガポールに死す」でもパットしないし、戦中派の皆さんには懐かしい響きのブキ。テ。マ。街道を北上して、マレーシア連邦に入国、ジョホールバル観光をした記念に、別に死んだ訳ではなかったの

ですが、「ジョホールに死す」とした次第で、駄文であればある程、題名には苦勞します。イヤ全く。「看板に偽りあり」ということでした。ゴメンナサイ。

(おわり)

不当、疑問の査定、減点には  
必ず再審請求を出そう。

毎月七日午後八時まで減点  
通知、注意書、減点レセプ  
トのコピー等を提出して下  
さい。

# ニュース

## 健保改正の厚生省案

今般厚生省が通常国会に提出を予定している健保改正案は次の通りです。

### ○健保制度改善の趣旨

医療保障制度の中核をなす医療保険制度の充実を期するため、健康保険における保険給付の改善を行うとともに、保険財政の健全化を図る。

### ○改善の内容

1. 家族給付率を五割から六割に引き上げる。
2. 自己負担額が三万円をこえる家族の療養については、高額療養費を支給する。
3. 分娩費の最底保障額を二万円から四万円に、配偶者分娩費の額を一万円から四万円に、それぞれ引き上げる。
4. 家族埋葬料の額を二千元から二万円に引き上げる。
5. 標準報酬の上限を十万四百円から二十万円に、下限を三千元から二万円に引き上げる。

6. 政管健保の保険率を七%から七・三%に引き上げる。

7. 賞与について、賞与を受ける都度一%の特別保険料を徴収する。ただし報酬月額五万円未満の被保険者については徴収しない。

8. 政管健保に、保険給付費の十%の定率国庫補助を行なう。

9. 政管健保の保険料率について、八%を限度とする弾力的調整規定を設ける。

10. 弾力的調整による保険料率の引き上げに連動して、国庫補助率を増加する規定を設ける。

11. 昭和四十八年度末の政管健保の累積収支不足額(約二千八百億円)を棚上げし、一般会計からの繰入れによって補てんする途を講じ、新規の借入れを限定する。

### ○実施時期

昭和四十八年四月一日から実施する。ただし高額療養費に係る改善は同年十月一日から実施する。

「医師会行事あれこれ」及び「理事会だより」は次号にまとめて掲載します。

# 第 36 回 青医ゴルフ

S 47. 11. 16

立川国際 草花コース

	Out	in	gros	HDCP	Net	RanK	NewHD
高 水	55	45	100	(16) 12.8	87.2	8	
丸 茂	51	45	96	(25) 20	76	4	
大河原	56	44	100	(30) 24	76	3	27
江 本	47	40	87	(8) 6.4	80.6	7	
平 林	44	39	83	(14) 11.2	71.8	優勝	10
東	54	41	95	(18) 14.4	80.6	6	
堤	56	51	107	(36) 28.8	78.2	5	29
羽田野	56	48	104	(36) 28.8	75.2	2	

No. 18 日没中止

## 西多摩医師会新年会始末記



一月十日は、たまたま大安吉日に当り、その意味からいっても誠におめでたい新年会となったわけです。わたくしは、定刻よりやや遅れて会場へ着いたところ、おどろいた事にすでに四十五十名の先生方や同伴の家族の方々が集まっておられました。この事は、これまでの医師会の集まり工合からは、到底想像もできない一大異変のように思われました。たとえ徐々にではあっても、医師会が良い方向に変わりつつある証拠と考えてよろしいのではないのでしょうか。大変うれしいことです。

さて、定刻より三十分遅れの午後六時、すでに六十名を越す参会者一同は、福島理事の司会により石森元会長の音取で乾盃。シャンパンを開ける音が、あちちでもこっちでもボンボンと景気良くひびく。ややあって、高水会長の挨拶があり、続いてゲストの青梅・五日市両保健所長のスピーチ、更に続いて西多摩青色申告会長進藤先生の青申会館落成に伴う挨拶があり、ここでセレモニー的行事は一応終了。そりまごうくは、一司ご池走り勿忘て一主懸命……

食べても食べても、山と積まれたご馳走は無くならないのである。

△おことわり▽

アルコールも適度に廻ったところで、いよいよ当日のハイライト、池田、中村両先生のプロ級のマジック披露となり、先ずは中村先生のタバコの妙技によって一同はしだいにマジックの世界へと引き込まれていく。次いで池田先生の鳩のマジックが披露されるや、一同その妙技に酔ったかの如く、演技が終っても一瞬拍手を忘れた程でした。続いて福祉部理事たちの怪しげなナツメロ（恥も外聞もあらばこそとムード造りに懸命な福祉部理事の涙ぐましい努力に対して、願わくば拍手を送られんことを……ゴメンナサイ、拍手の強要はイケマセンでした）が飛び出した後は、明治生れ代表として坂本先生の珍芸？があり、更には女性軍の代表として、先ず佐藤先生のお嬢さまがトップバッターとして登場、一同の手拍子に合わせて民謡が披露されましたが、その美声と共に長身の胸に付いていた「スマイルバッジ」が印象的でした。続くは西医のトップレディー、高水会長令夫人の登場となり巧みな節廻りで民謡が披露され、その最中にサービスピ精神旺盛な愛すべき男、矢崎崎先生（アア、福祉部理事のつらさヨ）は阿波踊りのような踊りでムードを盛り上げて下さいました。次いでその矢崎崎先生の令夫人が、これまた美声で民謡を披露、ムードは最高潮に達したのでありますが、時間という物はムードとは関係なしに冷酷に進行して行くものです。

△丁度、時間となりましたア……というわけで、栗原副会長、森院長、香西監事の七つで、めでたく散会となったわけです。

△おことわり▽

今年度の新年会の設営は総務部が担当し、司会・進行は福祉部が担当となったのですが、設営のスパラシサに較べて司会の方は決して満足なでき栄えではなかったように思われます。その原因としては、われわれが不慣れだったことと、もう一つは、当日会場に「マイク」の設備がなかったことが挙げられます。癸の支配人の話では、折悪しく二日前にマイクが故障したとのことですが、次回からはこのような不手際がないように充分注意致しますので、今回はどうかご寛容の程願ひ上げます。

最後に、「家族ぐるみ」で楽しみ親しむというムードが今後ますます盛り上がることを期待致します。

(K)

## 国保審査結果より

### 保険部

西多摩医師会関係では次のような注意がありましたのでお知らせ致します。

1. 次の検査の同時施行は御遠慮下さい。

尿素Nと残余N、モイレンとビリルビン

蛋白分画とA/G比

2. 次の病名は慢性疾患指導料の対象ではありません。

慢性気管支炎 神経痛

3. 感冒にアブシドの注射は内服を原則として下さい。

4. 更年期、卵巣機能不全、狭心症、胸部神経痛の病名でゲドックス注射は御一考下さい。

5. 画一的クロマイ注、内服併用は御一考下さい。

6. ノイビタは適応をえらんで使用下さい。

7. 肘手関節ロイマにビタノイリン注は妥当ではありません。

8. 湿疹には部位を記入願います。

9. 尿一般検査

イ、試験紙を使用して行う検査の場合、定性を目的とするものは(蛋白、糖を除く)尿一般検査4点に含まれます。

ロ、蛋白、糖の定性を目的とするものは請求出来ません。

10. 前腕蜂窩織炎にブレドニゾロンは症例をえらんで下さい。

11. 痛風、腰痛にデカドロンは妥当ではありません。

12. 急性気管支炎にルゴール塗布は御一考下さい。

13. 胸部レ線撮影と同時にを行う透視料の算定は御遠慮下さい。

14. 初診四十五年十一月以来の両肩胛部神経痛に漫然とアリナミン百五十ミリの連続投与は、一応症状安定したものと考えられるので減量投与を考慮して下さい。

15. 肛門周囲膿瘍の手術は八十六点です。

16. 頭部打撲裂創の処置は八点が妥当と思われれます。

17. 对症注射の少々頻回と思われるものが散見せられます。

内服可能な場合は内服を考慮して下さい。

## 編集会議余滴

A 「この会報について、最近いろいろ批判が集ってきて、編集会  
議でもこれに対して確固たる方針を決める必要があるように思いま  
すが、どうでしょうか」

B 「いや、批評といっても建設的な意見なら有難く拝聴するけれ  
ど、無駄だからやめるとか、自分では何も書かないのに、へんなこ  
とを云ってくるのは困るわ」

C 「僕は辞めようと思ったよ、実際。会員の和のために一生懸命  
やっているのに……。馬鹿らしいもんね」

D 「僕は思うに、こういうことで、こういう結果になったという  
のは会報を出す意味がなくなるわ。会報が出来たために不和が起っ  
たんぢあ本末顛倒だからね」

C 「うん、僕はただよその医師会に笑われたくないと思うから何  
とか踏み止まろうと思うだけだよ。自分の医師会だけの問題だっ  
たらとっくにやめているよ」

E 「だけど、会報は存続すべきだと思う」

A 「僕も存続すべきだと思う。広域医師会でしよう。意志の疎通  
の機関は何もないですよ。広いから、広すぎるために、だから僕  
はこういう会報がなければだめだと思う」

B 「皆同じことを考えるわ」

A 「狭い所では、しょつ中話し合っていて、そんな所は会報なん  
かいらないですよ」

F 「僕は西多摩医師会に三十年もいるんだが、今まで会報を何回  
作ろうと思ったか分らないんだ。これ、何とかしてね。恥かしいん  
だよ。医師会があつて医師会報がないなんて恥かしいですよ。だか  
ら三十年の間何とか出そうぢあないかと云ったんだけど、尻切れ  
トンボで、誰も書く人はなし、責任者はなし、全く駄目だったんだ。  
医師会創立以来六十年でやっと出来上ったんだから……」

A 「書くということ、本当は書く人は編集委員ぢあなく、編集  
委員は書かないで、原稿集めをするのが……」

B 「それが理想ですよ。今まで原稿がないから仕様がなしに埋め  
てきたわけです」

C 「そうなつてくるとサ、最初の編集委員の人選が逆だったとい  
うことになるワね」

B 「本来は我々は書かない方がいい……」

A 「僕としては好きなことを書いていた方が楽で、本当は（編集  
委員を）降りたいんですよ。頼まれるから書いているんだと大きな  
顔をしていた方がよっぽどいい」

B 「然し、それは出来ないし、破壊につながるから……。誰かに  
頼んでも書いてもらわなければ……」

C 「会うたんびに頼んでも書かない人は書かないし、馬でも水の  
所までつれてくることは出来ても、飲みたくない馬は絶対に飲まな

いですからわ。うん。然しむだを承知で何回か頼んでいるうちに、犬も歩けば棒に当るで、この間並木先生が書いてくれたですからね。これだつてとに角、書いてもらえる期待はあまり持っていなかったけれど、予防注射の時一緒になったから、原稿を何か書いて下さいと云ったら、死ぬ思いで書いた(笑)といつていられた。大変よかったですからもう一回書いて下さいと云ったら、もうごめん。(笑)だけでも少ししたら又書いてもらえと思うんだ」

一年に一回でも

C「いま医師会員をA会員B会員合せて約二百名、百九十何名位ぢあないですか。二百名に一寸足りない。そうですよ。創刊号から今までの執筆者の数を数えてごらん下さい。五十名は勿論いんですよ。かりに二十名とすると、全会員の十分の一ですよ。でも一年に一回でも新しく書く人がいるならば、やがては全員書くことになるんぢあないか。だから、宝くじを買うようなもので、ひょっとしたら当るかも知れないというんで、お願いしますと云うと、ぢあ何か書こうかということになってくる……」

E「僕はここで、今晚一つ提案があるんですが……。会報も六号まで発行されて、一応どんなスタイルにした方がいいか、タイトルね。時論だとか各部だよりとかあるでしょう。そういうスタイルを決めた方がいいと思う。第二号だかに載った医師会日誌的な、何月何日に何があったというようなことは、これは総務部の責任に於て載せなければならぬと思う。それから理事会だより、理事会でど

んなことが決つたかということ、これは総務の方か、広報の方か分らないけれど、これも必要だ」

G「そうですね。その総務部の日誌的なものと、理事会の議決事項、これはこの会報を読んでいる会員に知らせなければならぬ。こういうものは必ず書くこと決めたらいんぢあないか」

C「そうですね。これは誰その責任ということで、例へば総務部の責任に於て毎月出せと、それからその月に何もなければ出さなくてもよいし、そんなことは編集会議に出席するしないは関係ないんですよ。始めから分つていふことで、一回出してあとは書かないなんて無責任も甚だしい……」

H「だから始めから分つていふんぢあなくて、分つていないんだよ。はつきり云つて」

E「でも分つていても、たまたま忙がしくて……」

G「忘れていふのもあるよ。案外……」

F「だから編集会議までに、これこれのことは出すということを決めておけば……」

A「それが集らなければ発行しないというくらいの気持で行けばいい」

B「ぢあ決めましようよ今日」

E「先づ第一に、この会報は日医や都医の雑誌とは性質が違ふということ。西医の会報は、個人と個人のつき合ひの場であるという意味の大きなウエイトがある」

C「ウエイトがあるというよりも、それが存在意義なんですよ。だから疑義解釈というのは都医とか日医の雑誌にのせるべきで、西  
医の雑誌は性格が違うんだから、疑義解釈なんかを会報にのせるの  
はもつての他だと僕は思う」

D「あれはどこから出て来たんだ」

E「知らないんだ」

G「保険部で書いてあるよ」

H「いや保険部では知らないんだって」

E「それはおかしいわ。ちあ あれはどこから出て来たんだらう」

D「まあ、どこからしろ、これから出さなくなるから……」

C「でも僕はこだわるようだけど、あれは極めて不愉快で……」

A「僕はこの会報の目的は三つだと思う。一つはニュース性です  
よわ。ニュース性というのは、これは切らなければいけないと思う。  
西多摩医師会の中のニュースであって、上から来た都医とか日医か  
らのニュースというのは、ニュース性として受けとめられないんで  
すよ。西多摩医師会の機関誌である以上、西多摩医師会の中のニュ  
ースでいいんですよ。そういう区切りがまづあって欲しいというこ  
とですわ。それから上意下達、下意上達。それは理事会だよりであ  
り、会員の声であり、意志の疎通の場としての存在。それからもう  
一つは会員の親睦の場である趣味とか随筆……。この三つが、  
三本立てで行かなければならないと思う」

E「その三つの柱の中で、ニュース性というのは、これはさっき

から問題になっているんで、会報という名目を保つためには必要だ  
といますけれども、ニュースそのものは今迄通りに流しているも  
ので相当通じちゃうんですよ。だから第二と第三の項目の方が重点  
的に、やはり会員の融和とかわ、お互を知る為の、個人々々を知り  
合うことが団結の基礎だと思わんですよ。ニュース性だけを主とす  
るなら会報の必要性はないと思う」

G「これはわ。前に最終的に決めた会報の目的と意義というのが  
あるですよわ。あゝいうのは皆、各部長と編集委員会が最終的に採決

決した事項ですよわ。そこら辺から僕は見て欲しいと思わんですよ。  
というのは今更会報の意義は何だ、目的は何だということを非常に  
討論しているけれどわ。既に創刊号発行以前に合同会議を開いてそ  
れを採決した筈なんです。だから、それ……」

H「いや、問題はわ、我々編集者とか理事会とか、これにタッチ  
している人間は問題じゃないんですよ。こういう所に集っている人  
ちゃなくて、一般の読者に対しては、今までのイキサツがどうか  
なて知りゃしないんだ。だから……」

C「それからもう一つ。笛を吹いたら乗ってくるという意味で各  
部長を編集会議へということでしょうが、それよりも編集会議を今  
月は青梅ブロックでやり、来月は福生ブロックでやる、その次は南  
部で編集会議を持つという、そこに南部なら南部の人皆さん来て下  
さい。その方が僕は色んな意見が聞かれてよいと思う。とて角一般  
会員を対象にしなければ……」

(ということ、これから編集会議を各小地区で行いますのでその地区の会員の先生方の御意見をお聞きしたく、是非御出席下さるようお願い致します)

## 編集後記

十二月の初め頃、ボーリングの試合で、肩に力が入り過ぎて、ぎっくり腰になり、よたよたと二ヶ月間静養して、漸く良くなって来ました。

編集委員会はさぼり続きで、失礼しました。

原稿が集らない為、いろいろと困って来ましたわ。十二月の編集会議でも、その点が種々論議された様です。

そこで私は次の事を提案したいと思います。

「Cozy Corner」＝気楽なコーナー。

私の好きな……たべもの。健康法。人物。愛読書。花。料理。しつけ。座右銘 等々とし、誰でも気軽に、一行でも、二行でも、ある意味で自己紹介的に書く頁をもうけたら如何でしょうか。

ペンを取って、何かまとまったものを書くことは、ふだん書き馴れない者に取っては、とても苦痛です。気軽に自分の「好きな」事

思いつくまゝに提案します。

(丸茂 三千穂)

部屋の紅梅も終り新芽がふいて正月もアツトいう間にすぎ去って行きました。

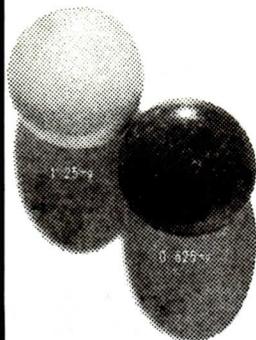
本誌八号のゲラを見ながら赤ん坊にたとえるなら八ヶ月の離乳食時代、本誌も消化不良、風邪も引きましたので心機一転。編集会議もいよいよマイクを会員の中にもってゆきますので筆舌両面より御協力をお願い致します。

小泉先生、岸田先生の大作にはいつも敬服していますが「外国人関係について考える」は我々の気がつかない盲点をついたもので、如様な問題を探し、検討し、そして医療政治に反映させようではないか。

(H Y 生)

商業ベースの雑誌で、なかなか良いアイデアのものだと思っていいたら、数ヶ月でつぶれて了った。会報も良い企画とアイデアが必要だが、先づ第一は原稿が集ることだと思ふ。気がるく書いて下さる様お願いします。

(平林 信隆)



更年期および更年期後の婦人に！

〈天然・結合型エストロゲン製剤〉

## プレマリン錠

■特長 1.天然水溶性のエストロゲンです。2.高力価を含有します。  
3.経口投与で活性です。4.更年期障害の諸症状を速やかに寛解させ  
しかも健康感を与えます。5.閉経期後のエストロゲン欠乏により  
起る種々の代謝異常を改善します。

■包装 プレマリン錠 1.25mg(黄色) 105錠、525錠、1050錠、  
プレマリン錠 0.625mg(褐色) 105錠、525錠、1050錠

健保適用



製造発売元  
東洋薬造株式会社



提携  
アイヤースト・ラボラトリーズ

動脈硬化・高血圧の愁訴に



# エベラニコチネート

血流不全による愁訴を改善するだけでなく、血管を強化し、眼底出血や脳出血の防止に役立ち、また、脂質代謝を改善し、血管の弾力性を保持します。

指定業者

快適な睡眠をお約束する、東洋羽毛の**羽根ふとん**

不要綿布団を下取りして  
快適な羽根ふとんを！

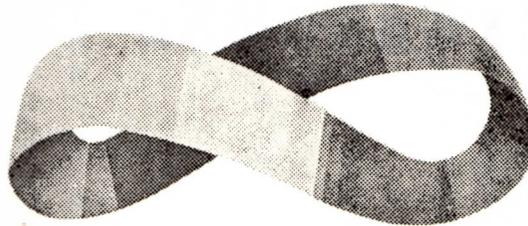
ただいまお得な組夜具セール実施中

\*例 ワンセット(掛・肌掛・敷・枕)49,000円より各種

御用命は西多摩医師会  
または(0426)91-2006へお気軽にどうぞ！

西多摩医師会指定  東洋羽毛工業(株)東京営業所  
東京都港区南青山5-10-12 電話(03)409-5704・7878

抗生物質療法の限界に挑戦する



新合成広範囲抗生物質

新発売

**ミノマイシン**<sup>®</sup> 健保適用

塩酸ミノサイクリン100mgカプセル

- 特長：
1. 耐性ブドウ球菌にも強い抗菌力をしめします
  2. 著名な殺菌作用がみとめられています
  3. 他の抗生物質との交叉耐性が見られません
  4. 耐性獲得は遅く、耐性菌をつくりにくい抗生物質です
  5. 少量の経口投与で高い血中濃度を長時間持続します

用法・用量：1日 1-2回(100-200mg(力価))で各種感染症にすぐれた治療効果がえられます

包装：100カプセル

薬価基準：1カプセル(100mg) 340.00

 製造 日本レダリー



販売 武田薬品